

三井関係文献目録 二〇二五

※今号では本誌掲載論文を除き、二〇二四年一月～二〇二五年九月に刊行された文献を掲載しました。二〇二五年一月以降に刊行された文献は次号掲載予定です。

〈社史など〉

青山学院一五〇年史編纂本部・編纂委員会・青山学院大学附属青山学院史研究所編『写真に見る青山学院一五〇年』青山学院 二〇二四年一月

葉山町編『葉山・町制施行一〇〇周年記念誌』一〇〇年後も、自然と人を想う町、葉山』葉山町 二〇二五年一月

老川慶喜・小野田滋編『鉄道百五十年史第一巻・創業から

国有鉄道の誕生まで』交通協力会 二〇二五年二月

沢井実・大内雅博編『鉄道百五十年史第二巻・「帝国の鉄道」の形成・発展・崩壊』交通協力会 二〇二五年二月

渡邊恵一・持永芳文編『鉄道百五十年史第三巻・復興期から高度経済成長期の鉄道』交通協力会 二〇二五年二月

二階堂行宣・中村英夫編『鉄道百五十年史第四巻・交通市場の変容と国鉄の経営危機』交通協力会 二〇二五年二月

中村尚史・松本陽編『鉄道百五十年史第五巻・JRと民鉄の時代』交通協力会 二〇二五年二月

原朗編『鉄道百五十年史資料編』交通協力会 二〇二五年二月

啓明学園同窓会編『啓明学園北泉寮』啓明学園同窓会 二〇二五年四月

三井住友トラストグループ株式会社業務部一〇〇年史編纂プロジェクトチーム編『託された未来をひらく・三井住友トラストグループ一〇〇年小史』三井住友トラストグループ

出版文化社編集・制作『三機工業百年史』三機工業 二〇二五年七月
五年七月

〈単行本〉

瀧口剛『自由通商運動』とその時代・昭和戦前期大阪財界の政治経済史』大阪大学出版会 二〇二四年一一月

末岡照啓『徳川幕臣団と江戸の金融史・札差・両替商の研究』思文閣出版 二〇二四年一二月

武居奈緒子『三井財閥による工業支配・日本優越史観からみた商人の競争力』五絃舎 二〇二四年一二月

牧知宏『近世京都における都市秩序の系譜』思文閣出版 二〇二五年二月

吉野亜湖・井戸幸一『近代万博と茶・世界が驚いた日本の「喫茶外交」史』淡交社 二〇二五年二月

今井就穂『日中戦争期上海資本家の研究』汲古書院 二〇二一

五年二月

卷島隆『飛脚は何を運んだのか・江戸街道輸送網』筑摩書房

二〇二五年二月

東野将伸『日本近世の金融と地域社会』堀書房 二〇二五年

三月

三科仁伸『戦前期日本の学閥ネットワーク・慶應義塾と企業家』日本経済評論社 二〇二五年三月

松村敏『毛利公爵家の資産と家政・倒幕・新政府樹立の旗手の近代』日本経済評論社 二〇二五年三月

北康利『渋沢栄一伝・すぐれたものの魂を真似よ』PHP研究所 二〇二五年三月

中西聰『山の富豪の資本主義・「資源国」日本の近代』名古屋大学出版会 二〇二五年五月

西脇康『近世大判座・金座と金貨の研究・豊臣秀吉の天下統一から戊辰戦争期の金座接收まで』StudioK5書籍部（頒布）二〇二五年六月

猪飼隆明『三池炭鉱の社会史・石炭と人の近代』岩波書店 二〇二五年六月

〈論文
近世〉

萬代悠「近世大坂における債権担保の流通」社会経済史学会

『社会経済史学』第九〇巻第三号 二〇二四年一月

高槻泰郎「近世大坂における米切手担保金融市场」社会経済史学会『社会経済史学』第九〇巻第三号 二〇二四年一月

鎮目雅人「コメント」近世日本金融市场における流動性の供給」社会経済史学会『社会経済史学』第九〇巻第三号 二〇二四年一月

高木久史「〈書評〉高島正憲著『賃金の日本史・仕事と暮らしその一五〇〇年』社会経済史学会『社会経済史学』第九

○巻第三号 二〇二四年一月

小林丈広「幕末の駕輿丁・猪熊座の概要」同志社大学人文科学研究所『社会科学』第五四巻第三号 二〇二四年一月
内山淳一「鯨のいる涅槃図・久遠寺本・真如堂本の成立と展開」日本美術新論刊行会『日本美術新論』第二号 二〇二二年一二月

四年一二月

畠尚子「大奥の御用商人」『江戸・たいとう学講演記録集・江戸からつなぐ歴史と文化』東京都台東区 二〇二四年一二月

二月

野高宏之「貸蒲団と蒲団貸」大阪市史編纂所・大阪市史料調査会『大阪の歴史』第九七号 二〇二五年二月

石井寛治「〈書評〉萬代悠著『三井大坂両替店・銀行業の先駆け、その技術と挑戦』」社会経済史学会『社会経済史

学』第九一巻第一号 一〇一五年五月

月

Naoko Takesue, Koji Igata 「The Development of the Con-

cept of "Japanese-style management" : Searching for the origins at Mitsui Echigo-ya」 実践経営学会『実践経営』第

六一號 一〇一五年五月

萬代悠「近世畿内の法制度と貸付利子率」 政治経済学・経済

史学会『歴史と経済』第六七巻第四号 二〇一五年七月

寺内由佳「研究余録」 安永期における大坂木綿仲間」 日本

歴史学会編『日本歴史』吉川弘文館 第九二六号 一〇一

五年七月

安国良一「住友の銅座掛屋拝命とその背景」 住友史料館『住

友史料館報』第五六号 一〇一五年七月

中川すがね「書評」 萬代悠著『三井大坂両替店・銀行業の

先駆け、その技術と挑戦』 大阪歴史学会『ヒストリア』

第三二一號 一〇一五年八月

萬代悠「書評」 高槻泰郎編著『豪商の金融史・廣岡家文書

から解き明かす金融イノベーション』 社会経済史学会

『社会経済史学』第九一巻第二号 二〇一五年八月

下向井紀彦「版木師井上治兵衛と三井家」『三井文庫論叢』

第五九号 一〇一五年二月

松浦智博「三井京両替店による慶応元年家康一五〇回忌法会

国役金御用」『三井文庫論叢』第五九号 一〇一五年一二

〈論文 近代〉

坂井田夕起子「近代日本仏教徒の中国進出から、戦後の日中

仏教交流へ・研究史とその課題」 京都民科歴史部会『新し

い歴史学のために』第三〇四号 一〇一四年一一月

安部悦生「書評」宮本又郎・阿部武司・宇田川勝・沢井

実・橋川武郎著『日本経営史・江戸から令和へ・伝統と革

新の系譜』第三版 社会経済史学会『社会経済史学』第九

〇巻第三号 一〇一四年一一月

熊野直樹「書評」工藤章著『ドイツ資本主義と東アジア一

九一四一九四五』 社会経済史学会『社会経済史学』第

九〇巻第三号 一〇一四年一一月

落合功「鈴木簾三郎と岡田良一郎」 国際二宮尊徳思想学会

『報徳学』第一八号 一〇一四年一一月

澄田恭一「ある「政友会」代議士の軌跡・高山長幸」 近代史

文庫『えひめ近代史研究』第七八号 一〇一四年一一月

曾我健「祖父・曾我正堂の足跡をたどって」 近代史文庫『え

ひめ近代史研究』第七八号 一〇一四年一一月

近藤順一「関東大震災後の資生堂の流通組織化・化粧品と石

鹹事業への二つの制度の導入」 経営史学会『経営史学』第

五九巻第三号 一〇一四年一二月

- 菊池航『書評』四宮正親著『販売の神様』といわれて…
 伝神谷正太郎』経営史学会『経営史学』第五九卷第三号
 二〇二四年一二月

岩間剛城『書評』鹿野嘉昭著『日本近代銀行制度の成立
 史・両替商から為替会社、国立銀行設立まで』経営史学
 会『経営史学』第五九卷第三号 二〇二四年一二月

須藤浩司「日露戦前期の北海道産鉄道用枕木の清国輸出につ
 いて・港湾都市小樽と清国との関係」北大史学会『北大史
 学』第六四号 二〇二四年一二月

久保文克「糖業連合会による国策性事業への参画・無水酒精
 製造計画の変更を中心に」中央大学商学研究会『商学論
 築』第六六卷第三・四号 二〇二四年一二月

疋田康行「アジア太平洋戦争時「南方」進出日系企業リスト
 の再構成(下)」立教大学経済学研究会『立教経済学研
 究』第七八卷第二号 二〇二四年一二月

平野恭平「明治期の鐘淵紡績における職工優遇策の発信と写
 真の利用・実態を伝えることから魅力を訴えることへ」政
 治経済学・経済史学会『歴史と経済』第六七卷第一号 二
 〇二五年一月

老川慶喜『書評』武田尚子著『箱根の開発と渋沢栄一』史
 学会『史学雑誌』第一三四編第一号 二〇二五年一月

沢井実『書評』阿部武司著『日本綿業史・徳川期から日中
 長廣利崇『書評』新鞍拓生著『九州の企業家麻生太吉の産
 業統治』大阪経済大学日本経済史研究所『経済史研究』
 第二八号 二〇二五年一月

鈴木貴宇「サラリーマン諸君」の群像・一九五〇年代から
 六〇年代にかけての「労働者像」に関する考察試論』法政
 大学大原社会問題研究所『大原社会問題研究所雑誌』第七
 九六号 二〇二五年二月

中西聰「近代日本の関西地域における企業家活動と同族団・
 家連合」慶應義塾経済学会『三田学会雑誌』第一一七卷第
 三号 二〇二五年二月

出雲勇一郎「戦前期アメリカ合衆国西岸における現地日系商
 社と横浜正金銀行・堂本善之進と北米貿易株式会社を中心
 に」企業家研究フォーラム『企業家研究』第二五号 二〇
 二五年二月

橋口勝利「近代名古屋の形成と矢田續・慶應義塾と三井銀
 行」慶應義塾福沢研究センター『近代日本研究』第四一號
 二〇二五年二月

- 稻塚広美「世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」・SOY-EUX DESTINS 絹が結ぶ縁」『産業遺産の社会史・日本とフランスの歴史・文化・課題』青弓社 二〇二五年二月
- 嶋崎尚子「石炭産業の最終局面での労働者・家族・地域・社会研究の源泉としての産業遺産」『産業遺産の社会史・日本とフランスの歴史・文化・課題』青弓社 二〇二五年二月
- 武田晴人「アーカイブの窓から考える産業遺産」『産業遺産の社会史・日本とフランスの歴史・文化・課題』青弓社 二〇二五年二月
- 中村尚史「鉄道記念物と産業遺産・文化財保護をめぐる企業の社会的責任を中心に」『産業遺産の社会史・日本とフランスの歴史・文化・課題』青弓社 二〇二五年二月
- 大島久幸・結城武延「分系会社の設立・自立化と意思決定過程・三菱商事における取締役会議事録の分析」三菱経済研究所『三菱史料館論集』第二六号 二〇二五年三月
- 鹿野嘉昭「両大戦間期における地方銀行経営・日銀考査資料による分析」同志社大学経済学会『経済学論叢』第七六巻 第四号 二〇二五年三月
- 東村篤「伊勢商人から広報の原風景を探る」四日市大学学会『四日市大学論集』第三七巻第一号 二〇二五年三月
- 徳永彩子・所吉彦「女性管理職の一皮むけた経験・岩田屋三越の事例研究」熊本学園大学商学会『熊本学園商学論集』
- 児玉州平「日中戦争勃発前後における耀華機器玻璃股份有限公司の経営」三菱経済研究所『三菱史料館論集』第二六号 二〇二五年三月
- 中西僚太郎「明治期から昭和戦前期における日本内地と中国・台湾を結ぶ定期航路」筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群人文学学位プログラム歴史・人類学サブプログラム『歴史人類』第五三号 二〇二五年三月

第二九卷第二号 一二〇二五年三月

久保文克「国策性事業をめぐる糖業連合会内の利害調整・無水酒精生産の肩替を中心に」中央大学商学研究会『商学論纂』第六六卷第五・六号 一二〇二五年三月

鳥巢京一「企業勃興期における電気事業・千原文書を中心として」九州大学記録資料館産業経済資料部門『エネルギー史研究』第四〇号 一二〇二五年三月

宮地英敏「閉山後の雄別炭礦からの労働移動についての分析」九州大学記録資料館産業経済資料部門『エネルギー史研究』第四〇号 一二〇二五年三月

草野真樹「*書評*」畠中茂朗『明治日本のローカル・アントレプレナー・旧長州藩士が担った地方の産業化と近代企業の創成』九州大学記録資料館産業経済資料部門『エネルギー史研究』第四〇号 一二〇二五年三月

市川大祐「愛知県における大豆粕肥料供給の展開」政治経済学・経済史学会『歴史と経済』第六七卷第三号 一二〇二五年四月

禹宗耘「ストライキの現代的意義と課題・日本の歴史と実態をふまえて」労働政策研究・研修機構『日本労働研究雑誌』第七七八号 一二〇二五年四月

島西智輝「戦後日本におけるストと労使関係・石炭産業の事例」労働政策研究・研修機構『日本労働研究雑誌』第七七号 一二〇二五年四月

畠中茂朗「貝島炭礦の華北占領地進出・創業から昭和戦前期

八号 一二〇二五年四月

河原林直人「*書評*」平井健介著『日本統治下の台湾・開發・植民地主義・主体性』日本史研究会『日本史研究』第七五三号 一二〇二五年五月

浅井良夫「*書評*」迎由理男著『戦前期都市銀行史研究・安田銀行を中心に』社会経済史学会『社会経済史学』第九一卷第一号 一二〇二五年五月

平将志「*書評*」細井勇・城島泰伸編著『筑豊の生活保護とキリスト教・「制度」か「人間」かをめぐる運動史』社会経済史学会『社会経済史学』第九一卷第一号 一二〇二五年五月

木山実「*書評*」岡崎哲二・大石直樹編『戦前期日本の総合商社・三井物産と三菱商事の組織とネットワーク』経営史学会『経営史学』第六〇卷第一号 一二〇二五年六月

福本寛「*書評*」嶋崎尚子・中澤秀雄・島西智輝・清水拓・張龍龍・笠原良太著『台湾炭鉱の職場史・鉱工が語るもう一つの台湾』法政大学大原社会問題研究所『大原社会問題研究所雑誌』第八〇一号 一二〇二五年七月

新鞍拓生「日清戦後の石炭の市場拡大と筑豊炭鉱の産出量」西日本文化協会『西日本文化』第五一五号 一二〇二五年七月

月

までの歩みと中国における事業展開』西日本文化協会『西

日本文化』第五一五号 二〇二五年七月

木庭俊彦「田川炭鉱における緊急増産」西日本文化協会『西

日本文化』第五一五号 二〇二五年七月

沖一郎「昭和の記憶戦後編（二）私と炭鉱そして母たちの

闘争」西日本文化協会『西日本文化』第五一五号 二〇二

五年七月

岡部るい「風景画家江上茂雄が生きた街大牟田、そして荒

尾」西日本文化協会『西日本文化』第五一五号 二〇二五

年七月

小野浩「九州と鉄道（四）高度成長期の九州地方における

「民鉄」の廃止」西日本文化協会『西日本文化』第五一五

号 二〇二五年七月

阿部武司「企業家の日記について」企業家研究フォーラム

『企業家研究』第二六号 二〇二五年七月

福田真人「明治後期住友銀行における貸出業務と「割引手

形」・動産・債権担保融資や信用調査に着目して」住友史

料館『住友史料館報』第五六号 二〇二五年七月

沢井実「産学連携の原点・住友と東北帝国大学金属材料研究

所」住友史料館『住友史料館報』第五六号 二〇二五年七月

月

大賀健介「住友本社による山本住宅地の分譲」住友史料館

『住友史料館報』第五六号 二〇二五年七月

渡邊純子「戦時期満州における住友の事業」住友史料館『住

友史料館報』第五六号 二〇二五年七月

関野滿夫「昭和初期日本の戦争・軍備拡張と国家財政」中央

大学経済学研究会『経済学論纂』第六六卷第一・二号 二

〇二五年七月

鹿野嘉昭「再考・戦前期における銀行貸出の特徴としての機

関銀行と株式担保金融・日銀考查資料に基づく分析」同志

社大学経済学会『経済学論叢』第七七卷第一号 二〇二五

年七月

寺本敬子「パリ万国博覧会と日仏交流」歴史学研究会編『歴

史学研究』績文堂出版 第一〇六四号 二〇二五年八月

中林真幸「〈書評〉濱口桂一郎著『賃金とは何か』・職務給の

蹉跌と所属給の呪縛」労働政策研究・研修機構『日本労働

研究雑誌』第七八二号 二〇二五年八月

平井直樹「明治期における綿糸紡績工場建設の技術移転・大

阪紡績会社の工場建設における英國企業と三井物産の役割

を中心」社会経済史学会『社会経済史学』第九一巻第二

号 二〇二五年八月

結城武延「明治期日本における紡績会社の経営戦略と工場經

當・鐘紡における武藤山治の組織設計』社会経済史学会
『社会経済史学』第九一巻第二号 二〇二五年八月

代のインバウンド』渋沢栄一記念財団渋沢史料館 二〇二五年二月

阿部武司「船場八社の形成と展開」社会経済史学会『社会経済史学』第九一巻第一号 二〇二五年八月

日本フィラソロピー協会「子々孫々まで事業を続ける三井的經營が語るもの・公益財団法人三井文庫」日本フィランソロピー協会『フィラソロピー』Philanthropy 通巻二八三号 二〇二五年二月

藤原樹「昭和戦前期日本の対イラク政策」歴史学研究会編『歴史学研究』續文堂出版 第一〇六五号 二〇二五年九月

九州大学記録資料館編『石炭研究資料叢書 第四七輯』九州大学記録資料館 二〇二五年三月

町田明広「渋沢栄一と井上馨・幻の井上内閣の実相」渋沢栄一記念財団『青淵』第九一九号 二〇二五年一〇月

清水実「史料紹介」『高祐日記』に見る文化関係史料・三井高祐と表千家との交流を中心に(一)・寛政十一年(一七九九)～享和四年・文化元年(一八〇四)・三井記念美術館『三井美術文化史論集』第一八号 二〇二五年三月

吉田ますみ「船舶改善助成施設の成立と三井物産」『三井文庫論叢』第五九号 二〇二五年二月

尾崎文雄「美術館、作品、空間、展示、光・三井記念美術館の照明改修工事での取り組みを交えて」三井記念美術館『三井美術文化史論集』第一八号 二〇二五年三月

小杉亮介「両大戦間期三井物産と子会社による飼料取引の構造・鶏卵・飼料の取引の連携に着目して」『三井文庫論叢』第五九号 二〇二五年一二月

〈その他〉

九州大学記録資料館編『石炭研究資料叢書 第四六輯』九州大学記録資料館 二〇二四年一一月

杉村久子著・石原佳子編『杉村久子日記・明治四十四年から大正元年(一九一〇)』大阪市史編纂所編『大阪市史史料』大阪市史料調査会 第九六輯 二〇二四年一二月

渋沢栄一記念財団渋沢史料館編『渋沢栄一と喜賓会・明治時代のインバウンド』渋沢栄一記念財団渋沢史料館 二〇二五年二月

平野祐子「報告」「藩札から近代紙幣へ・渋沢栄一、新老虎札の顔となる!」における「つたえる」「つながる」「つくる」「試み」「企画展『渋沢栄一肖像展II』関連シンポジウム」「つたえる」「つながる」「つくる」博物館の活動記録集』渋沢史料館 二〇二五年三月

加藤健太「〈資料紹介〉戦時期における昭和鉱業の株主総会・『昭和鉱業株式会社株主総会資料綴』の紹介」九州大

- 学記録資料館産業経済資料部門『エネルギー史研究』第四〇号 二〇二五年三月
- 平将志「資料紹介」田川市役所『失業対策事業の実態について』九州大学記録資料館産業経済資料部門『エネルギー史研究』第四〇号 二〇二五年三月
- 松阪市産業文化部文化課郷土資料室編『松阪市下村町中村家三井関連史料調査報告書』松阪市 二〇二五年三月
- 富岡市編『富岡製糸場解説マニュアル』富岡製糸場の歴史と価値 二〇二四改訂版 富岡市 二〇二五年三月
- 下向井紀彦「史料紹介」京兩替店別宅手代・林与七の活動記録『三井文庫論叢』第五九号 二〇二五年二月
- 吉川容「史料紹介」三井物産サンフランシスコ店旧蔵の本店取締役発信文書・一九二九～一九三一年』『三井文庫論叢』第五九号 二〇二五年二月
- 〈補遺〉
- 青山学院一五〇年史編纂本部・編纂委員会・青山学院大学附属青山学院史研究所編『青山學院一五〇年史 通史編』二〇二三年三月
- 上山和雄・内山京子・中澤恵子編『久邇宮家関係書簡集』近代皇族と家令の世界』吉川弘文館 二〇二四年三月
- 出版文化社編『三井化学二五年史 沿革編』三井化学 二〇二〇年四月
- 出版文化社編『三井化学二五年史 前史編』三井化学 二〇二四年四月
- 出版文化社編『三井化学二五年史 資料編』三井化学 二〇二四年四月
- 三井金属鉱業編『三井金属一五〇周年記念誌』三井金属鉱業 二〇二四年九月
- 水田丞『幕末明治初期の洋式産業施設とグラバー商会・一九世紀の国際社会における技術移転とイギリス商人をめぐる建築史的考察』九州大学出版会 二〇一七年三月
- 武田晴人『日本経済の発展と財閥本社・持株会社と内部資本市場』東京大学出版会 二〇二〇年二月
- 吳偉華『近世大坂の御用宿と都市社会』清文堂出版 二〇二三年一月
- 末永國紀『近江商人の経営と理念・三方よし精神の系譜』清文堂出版 二〇二三年一二月
- 田嶋信雄『ドイツ外交と東アジア・一八九〇～一九四五』千倉書房 二〇二四年三月
- 川崎博『応挙の日記・天明八年～寛政二年・制作と画料の記録』思文閣出版 二〇二四年六月
- 平井健介『日本統治下の台湾・開発・植民地主義・主体性』名古屋大学出版会 二〇二四年六月

- 森田弘美『資本の性格と地域制度』・富山・新潟・福島の近代
電力産業に関する比較分析』日本経済評論社 二〇二四年
七月
- 河西棟馬『後進国』日本の研究開発・電気通信工学・技
師・ナショナリズム』名古屋大学出版会 二〇二四年八月
- 杉山伸也『近代日本の「情報革命」』慶應義塾大学出版会
二〇二四年八月
- 前田和男『炭鉱の唄たち・炭坑節からプロテストソング、そ
して流行歌まで』ポット出版プラス 二〇二四年八月
- 武田晴人『日本帝国主義の経済構造』東京大学出版会 二〇
二四年一〇月
- 吉井文美『日本の中国占領地支配・イギリス権益との攻防と
在来秩序』名古屋大学出版会 二〇二四年一〇月
- 藤井典子『徳川期の錢貨流通・貨幣経済を生きた人々』慶應
義塾大学出版会 二〇二四年一〇月
- 近代租税史研究会編『近代日本の租税と社会』(近代租税史論
集・三)有志舍 二〇二四年一〇月
- 平良聰弘『新刊図書紹介』萬代悠著『三井大坂両替店・銀
行業の先駆け、その技術と挑戦』大阪市史編纂所・大阪
市史料調査会『大阪の歴史』第九六号 二〇二四年九月
清水裕介『渋沢栄一の業績とその相対的位置』功績書の分
析・比較を通じて』渋沢史料館『渋沢史料館年報』二〇二
二年
- 島西智輝『東アジア石炭産業の合理化と日本・日台間技術移
転の事例』立教大学経済学研究会『立教経済学研究』第七
七卷第三号 二〇二四年三月
- 清水裕介『日本のグランド・オールド・マン』に関する一
考察・渋沢栄一を中心に』渋沢史料館『渋沢史料館年報
二〇二三年度』二〇二四年三月
- 青木洋『総動員試験研究令について・日本の科学技術動員再
考』横浜経営学会『横浜経営研究』第四五卷第一号 二〇
二四年六月
- 疋田康行『アジア太平洋戦争時「南方」進出日系企業リスト
の再構成(上)』立教大学経済学研究会『立教経済学研
究』第七八卷第一号 二〇二四年七月
- 松本和明『書評』武田尚子著『箱根の開発と渋沢栄一』鉄
道史学会『鉄道史学』第四二号 二〇二四年九月
- 武居奈緒子『書評』岡崎哲二・大石直樹編『戦前期日本の
総合商社・三井物産と三菱商事の組織とネットワーク』
政治経済学・経済史学会『歴史と経済』第六七卷第一号
二〇二四年一〇月

一年度 二〇二三年三月

森田貴子『益田孝・近代日本の貿易の先駆者』ダイヤモンド
社『ダイヤモンドクオータリー』第三四号 二〇二三年一
〇月

社『ダイヤモンドクオータリー』第三四号 二〇二三年一
〇月

佐藤秀昭「書評」武田晴人著『事件から読みとく日本企業史』政治経済学・経済史学会『歴史と経済』第六七巻第一号二〇二四年一〇月

田川市石炭・歴史博物館編『田川市石炭・歴史博物館長講座記録集三 炭坑の語り部三・平成二二年度「炭坑の語り部」の記録』田川市石炭・歴史博物館二〇一三年一〇月
青野誠「文庫の森における埋蔵文化財確認調査報告」品川区教育委員会『品川区文化財調査報告書 令和五年度』二〇二四年三月

三井文庫の刊行物案内

三井文庫所蔵史料目録（既刊分のみ）	九五〇〇円
①『一件書類目録（京本店等原所蔵分）』	三四〇〇円
②『主要帳簿目録（京本店等作成分）』	二四〇〇円
③『主要帳簿目録（江戸本店・大坂本店等作成分）』	三三〇〇円
④『主要帳簿目録（京両替店等作成分）』	二一〇〇円
⑤『主要帳簿目録（大坂両替店等作成分）』	一七〇〇円
⑥『主要帳簿目録（河内新田会所等作成分）』	一三〇〇円
⑦『主要帳簿目録（大元方等作成分）』	八〇〇円
⑧『主要帳簿目録（大元方等作成分）』	一六〇〇円
⑨『一件書類目録（京・江戸・大坂両替店等原所蔵分）』	二二〇〇円
⑩『一件書類目録（大元方原所蔵分）』	一四〇〇円
⑪『一件書類目録（大元方原所蔵分）』	一三〇〇円
⑫『式目類目録（原所蔵者別）』	一〇〇円
⑬『一件書類目録（補遺）』	一四〇〇円
三井文庫論叢	
在庫・価格については、三井文庫までお問い合わせください。 ※二〇一二年四月より、掲載記事の一部についてPDF版の 公開を開始いたしました。公開PDFは三井文庫WEBサ イトからご覧いただけます。	
『史料が語る三井のあゆみ—越後屋から三井財閥—』	
発売は吉川弘文館。定価一六〇〇円（税別）。	
本書は全国書店にご注文ください。	

『三井事業史（二〇〇一年全巻完結）』 一二五〇〇円
『三井事業史 本篇第一巻』 一二五〇〇円
『三井事業史 本篇第二巻』 一二五〇〇円

新規公開資料について

二〇一五年五月八日より左記資料を公開した。

三井物産沿革史資料 請求記号「物産沿」六〇九一、九六

本資料群は昭和一〇（一九三五）年より編纂が開始されたものの途中で中断された『三井物産沿革史（稿本）』とその関連資料からなり、これまで五九点を公開してきたが、新たに四三点を新規公開した。社内外の往復状、日誌、写真アルバムなどが含まれる。

参考図書 「木村卯兵衛家文書・中村八郎兵衛家文書」

B二〇六一〇五一～五八

「堀孫太郎家文書」 B二〇六一〇七一～四四

「京都井筒屋（岡田家）文書」

B二〇六一一一一一八一

〔大蔵省出納司金穀出納関係書類〕

B六五〇一一二一一二六

三井文庫が購入した資料等を登録した参考図書群から四つの文書群を新規公開した。木村卯兵衛家は宝暦年間以来の西陣織の老舗で、本文書群は明治期のものである。中村八郎兵衛文書は木村卯兵衛文書の付属資料である、堀孫左衛門（後、堀孫太郎）は三井家の別家で、京糸店勤務ののち大阪両替店

に移籍（加判名代）、その後は大元方に加わった。本文書は書状が中心で、三井の奉公人や同族に関するものも含まれる。京都井筒屋（岡田家）は小野善助家の別家で、本文書は岡田金兵衛・岡田金作に関する幕末維新时期の資料が中心だが、小野家の帳簿や小野組の最末期の状況をうかがえるものもある。大蔵省出納司は明治二（一八六九）年に大蔵省内に設置された金穀出納機関で、本文書には安政期から明治三年までの資料が含まれる。

二〇一五年十二月一日より左記資料を公開した。

井上侯爵家より交付書類 請求記号「井交」四八九一四九九

本資料群は三井家顧問であった井上馨が所蔵していた書類であり、これまで四九〇点を公開してきたが、新たに一点を新規公開した。既公開資料の原本などが含まれる。

いずれの資料も検索は所蔵史料データベースまたは閲覧室備付の目録で行い、一部はデジタル画像により閲覧に供するものとする。なお、所蔵史料データベースは近日中に新たなプラットフォームへ変更する予定である。

公益財団法人 三井文庫

評議員

監	監	理	理	理	理	理	理	理	理	理事長	役員
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	副理事長	
笠	橋	三井	八郎	右衛門	谷	細	鈴	石	柏	岩	北
田	本	田	朋	宏勝	木	谷	齋	赤	清	沙	飯
											島
											山

綱 淡 仙 座 佐 近 古 河 木 梶 角 加 岡 江 三
川 輪 田 間 々 藤 賀 野 村 浦 井 來 頭 井
貞 木 雅 博 元 道 卓 正 良 敏 長
智 敏 雄 康 卓 之 文 昭 夫 一 博 年 一 明 生

吉 武 宮 満 松 古 則 野 日
高 藤 本 岡 尾 谷 久 泽 覚
紳 光 又 次 敏 芳 昭
介 一 郎 郎 夫 稔 行 徹 廣

定価 本体四、〇〇〇円（税別）

二〇二五年一二月一六日発行

三井文庫論叢第五九号

公益財団法人 三井文庫

代表者 武田晴人

公益財団法人 三井文庫

発行所

東京都中野区上高田五丁目一六番号
郵便番号 一六四一〇〇二
電話〇三(三三八七)九四三二(代表
ファックス〇三(三三八七)九四三二
振替〇一〇一五一三二一六六

印刷・株式会社三秀舎